

覆工による仮設作業通路で工期短縮

(一社)静岡県土木施工管理技士会
株式会社 橋本組
工務部 西澤 克浩
Katsuhiko Nishizawa
技術者登録番号 00074914

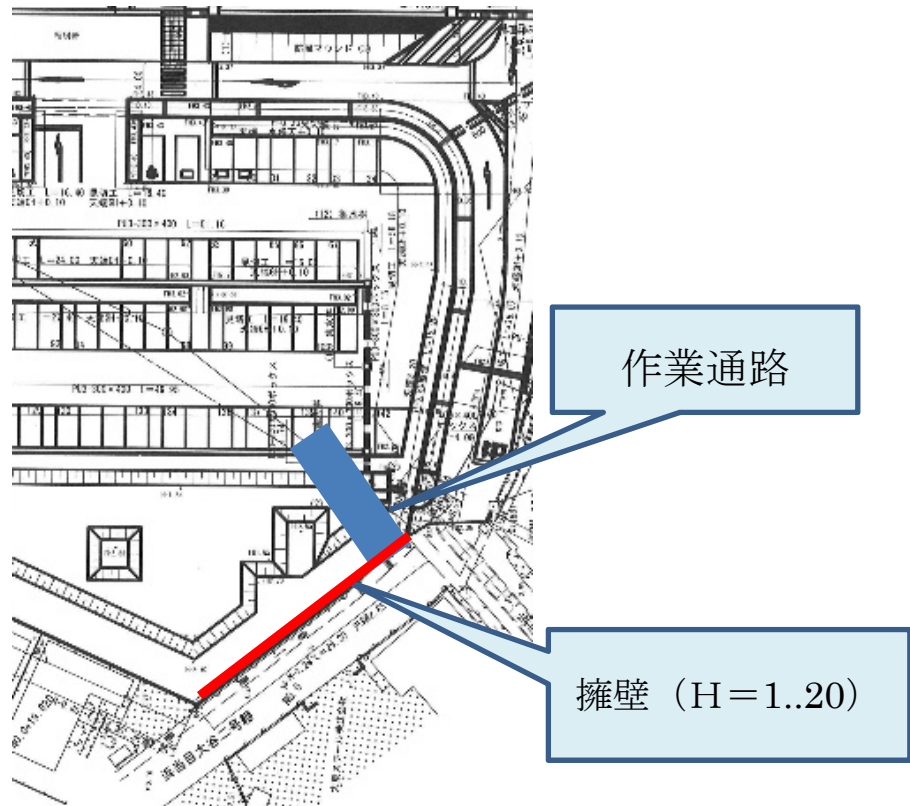
1. はじめに

工事概要

- ① 工事名 : 平成 27～29 年度 新斎場建設工事 (外構工事その 2)
- ② 発注者 : 志太広域事務組合
- ③ 工事場所 : 静岡県焼津市浜当目地内
- ④ 工期 : 平成 27 年 11 月 5 日～令和 2 年 3 月 19 日
- ⑤ 工事内容 :
 - ・敷地造成工 1 式 (掘削 2100 m³、造成盛土 5100 m³、発生土処分 3900 m³)
 - ・擁壁工 1 式 (A-1 縁石 79m、見切 664m、H-0.3 103m、H-0.4 45m、他)
 - ・雨水排水設備工 1 式 (Wn-300 120m、集水桝 16 箇所、調整池工 3 箇所他)
 - ・修景施設整備工 1 式 (通路工 2 箇所、防風マウンド工 2 箇所他)
 - ・サービス施設整備工 1 式 (サービスエリア、屋外サイン他)
 - ・舗装工 1 式 (アスファルト舗装 6460 m²、カラーアスファルト舗装 258 m²他)
 - ・既存施設移設工 1 式
 - ・給水設備工 1 式
 - ・構造物撤去工 1 式
 - ・電気設備工 1 式
 - ・敷地外工事 1 式
 - ・安全工 1 式
 - ・仮設工 1 式
 - ・雑工 1 式

本工事は、志太広域事務組合発注による新斎場建設工事の一環で、新斎場本体工事 (建築工事・空調・衛生・電気工事) の他に、新斎場敷地内を南北に縦横断する形の水路工事が含まれていました。

2. 現場における問題点

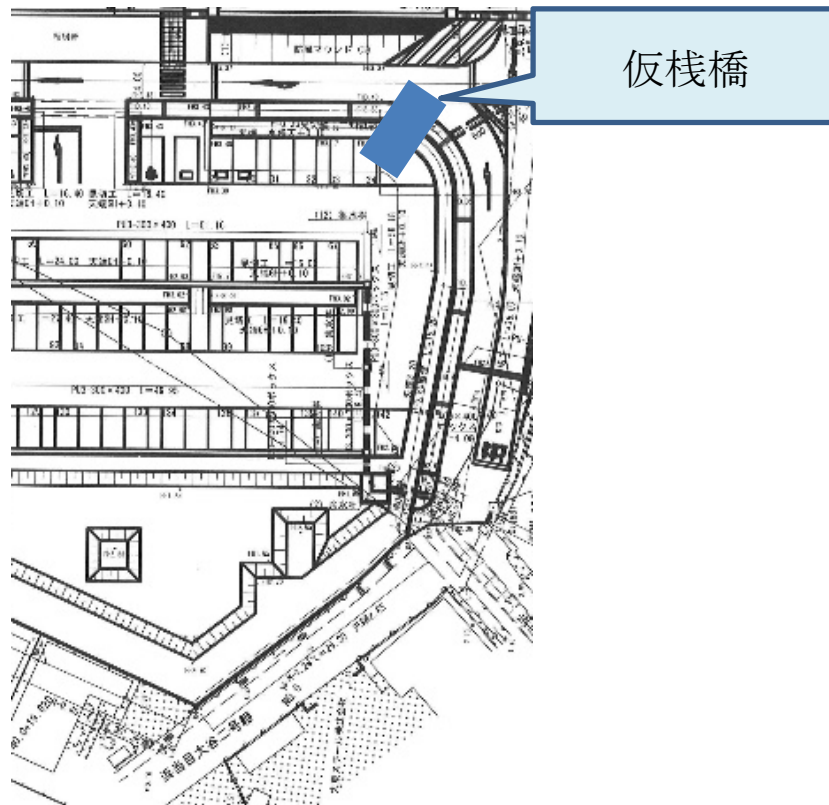


当初工程では、南西側擁壁部分を仮設通路として場内の施工を終え、最後工程で擁壁（H=1.20）の築造を考えていました。

しかし、本体工事等の工期延長等により、別工事の植栽工事との並行作業となり、調整池周辺の構造物築造を先行しないと植栽工事の遅れを生じ、引続いての当JVの構造物築造に影響を与え、結果として2工事共工期内の完成が危ぶまれる状態となりました。

3. 対応策・改善点と適用結果

前述したように、新設水路を横断する形の駐車場出入口は、1か所しかなく、すでに参列者と車両に供用されてきました。その箇所を工事車両の通路とするには、斎場の運営と安全管理の面から考えても友引施工しか方法がなく、到底完成工期には間に合わない状態でした。



水路工事業者、植栽工事業者、当JVで完成工期厳守第一での考えの中で話し合いを行い、下記の3点が懸念事項として挙げられましたが、水路上に仮設通路を作成するのが最善策という結論に至りました。

- ① 水路工事-施工途中の水路上に障害物（仮栈橋）が出来る為、手間が増え、施工単価の上昇が考えられる。
- ② 植栽工事-構造的に大型車両による資材運搬が不可能で、中型車による場内小運搬が生じ、施工単価の上昇が考えられる。
- ③ 当JV-設計に無い仮栈橋の鋼材費・設置費、取付盛土の施工及び撤去費の増が考えられる。

4. おわりに

三社協力して発注者と交渉を行い、仮栈橋を設計変更として指示を頂く事が出来ました。

仮栈橋による作業通路を確保できた事により、境界擁壁・調整池築造が先行でき、その周辺の植栽工事も並行して作業出来、三社共完成工期に間に合わせる事が出来ました。

